

新潟市道徳部

部長 若山 大輔（横越小）

1 研究主題

自己を見つめ、よりよい生き方を目指す子ども
～3つの出会いを視点にした指導法の工夫～

2 研究の概要

本主題には「自己の在り方や生き方を主体的に見つめ、これからの自分に期待し、道徳的な実践への意欲を高めてほしい」という強い願いを込めている。

主題の具現化に向けて、子どもたちは道徳の時間に主に3つのものに出会うと考える。それは、「①資料における主人公②友だちの見方、考え方③新しく見えてきた自分の姿」である。

市小研道徳部では、この3つの出会いを通して、自己実現への思いや願いを培っていくことのできる道徳授業の実現をめざしている。「児童自らが、資料と経験を重ね合わせて考え、友達と自分の考えを交流する中で、希望をもってよりよい生き方を見つけ出ししていく授業」を目指している。そのためには、道徳の時間における指導法の構築をめざしていかなければならないと考えている。

3 研究の実際

- 5月 道徳部役員会 ・研究計画の検討
- 6月 全員研修 ・研究計画の提案と意見交換 ・授業者の決定と役割分担
- 7月 全員研修 講演会 上越教育大学教職大学院 教授 早川 裕隆 様
演題「心に響く道徳の時間の創造―役割演技を取り入れた道徳授業―」
- 8月 全員研修 講演会 阿賀野市立水原小学校 教頭 土田 暢也 様
演題「道徳的实践力を高める資料作り」
- 9月 ブロック別による指導案検討
・五十嵐会場ブロック・・・アドバイザー 田中 修二教頭（白山小）（新潟市マイスター）
・東中野山会場ブロック・・・アドバイザー 渡邊 泰治教諭（大形小）（新潟市マイスター）
- 11月 研究授業1 五十嵐会場ブロック
4年「みんなで いっしょに」菅原 友和教諭（五十嵐小）
指導者 沼田 安夫教頭（月潟小）
- 12月 研究授業2 東中野山会場ブロック
6年「家族の思いを受けて」高橋 志織教諭（東中野山小）
指導者 尾身 浩光教頭（山の下小）
- 1月 全員研修 「私の道徳授業」実践報告会
- 2月 道徳部役員、アドバイザーによる来年度の研究、組織についての検討

4 成果と課題

〈役割演技について〉

- 役割演技を実施する上での基本的なルール、演者、観客の見取り方など指導法の基本的要件が明らかになった。また、児童の実態に応じた役割演技を組み込んだことで、自分事として受け止めた発話が可能となった。演者、観客ともに登場人物との対話から生まれた発話が生成された。
- 板書構成の工夫により、児童の思考を可視化することができた。
- 相手の気持ちに寄り添い、心情を明確にする発問など、演者への踏み込みの甘さに課題が残った。
〈家族からの手紙について〉
- 家族からの手紙を提示したことで、親への感謝の思い、未来の自分像が明らかになり、新しく見えてきた自分の姿に出会うことができた。
- 実践報告会では授業実践の成果と課題を基に、部員一人一人が各自の構想で授業を行い、レポートにまとめ、実践検討を行った。部員の授業改善を図るきっかけとなる検討会となった。